

おわりに

～ 市民の皆さんと取り組む「心のバリアフリー」～



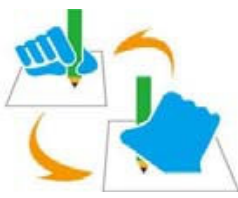



高齢者や障がい者等が、地域の中で生活するためには、施設や経路等のハード面の整備だけではなく、市民一人ひとりが心のバリアを取り除き、高齢者や障がい者を含めた人々の多様性をお互いに理解し、支え合う「心のバリアフリー」が重要です。

市民のだれもが、この「心のバリアフリー」を進める役割を担っており、「周囲から一声かけてもらえること」や「少し配慮してもらえること」など、日々の生活や災害時においても、お互いに思いやりのある行動が増えることで、高齢者や障がい者等も安心安全に移動することが可能となります。

本市においても、市民一人ひとりが高齢者や障がい者等の立場に立った「心のバリアフリー」の意識を醸成していくため、周囲の理解不足や誤解・偏見を無くし「お互いに思いやる」ことを考え、行動に移せるような取り組みを推進します。

正しい理解を深めて「心のバリアフリー」を推進しましょう

■障がい者等に関するマークなどの一例

ヘルプマーク	手話マーク	筆談マーク
		
外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるマーク	手話言語でのコミュニケーションの配慮を求めるときに提示したり、手話言語による対応ができる施設などが提示可能なマーク	筆談でのコミュニケーションの配慮を求めるときに提示したり、筆談による対応ができる施設などが提示可能なマーク
障害者のための国際シンボルマーク	身体障害者標識(身体障害者マーク)	ほじょ犬マーク
		
障害者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマーク	肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマーク(努力義務)	身体障害者補助犬法の啓発マーク

出典:内閣府

■障がい者等に関するマークなどの一例

盲人のための 国際シンボルマーク	聴覚障害者標識 (聴覚障害者マーク)	耳マーク
		
視覚障害者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられる世界共通のマーク	聴覚障害者であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマーク(義務)	聞こえが不自由なこととあわせて、聞こえない人、聞こえにくい人への配慮を表すマーク
ヒアリングループマーク	オストメイト用設備/オストメイト	ハート・プラスマーク
		
補聴器や人工内耳に内蔵されている T コイルを使って利用できる施設・機器であることを表示するマーク	排泄機能に障害のある障害者であること及びその配慮されたトイレであることを表す	心臓、呼吸機能などの「身体内部に障害がある人」を表すマーク
「白杖 SOS シグナル」 普及啓発シンボルマーク	マタニティマーク	介護マーク
		
白杖を頭上 50 cm 程度に掲げて SOS のシグナルを示している人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという運動の普及啓発シンボルマーク	妊産婦が交通機関等を利用する際に身に着け、周囲に妊産婦であることを示しやすくするマーク	介護する人が、介護中であることを周囲に理解してもらうためのマーク

出典:内閣府、こども家庭庁(マタニティマーク)、静岡県(介護マーク)